

食安輸発第0518001号
平成21年5月18日

各検疫所長 殿

医薬食品局食品安全部監視安全課
輸入食品安全対策室長
(公印省略)

モニタリング検査の強化について
(米国産ラズベリー及びその加工品)

平成21年度輸入食品等モニタリング計画については、平成21年3月30日付け食安輸発第0331008号に基づき実施しているところです。

今般、国内における自主検査の結果、米国産冷凍ラズベリーにおいて基準値(0.01ppm)を超えるビフェナゼートが検出されたとの情報を入手したことから、下記の食品については、食品衛生法違反の蓋然性を判断する目的で、残留農薬に係るモニタリング検査の頻度を30%に引き上げて対応するので、検査の実施方よろしくお願ひします。

記

- 1 対象食品
米国産ラズベリー及びその加工品（簡易な加工に限る。）
- 2 検査項目
残留農薬（ビフェナゼートを含む。）